

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和8年2月25日（水）午後1時15分～午後2時55分
- 2 出席者 櫻井委員長、和田委員、逸見委員、斎藤委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
公安委員会事務室長、交通規制課長、交通聴聞官、運転免許センター
センター長補佐
- 3 議題事項
 - (1) 新潟県警察の交番及び駐在所の名称等に関する規則の一部改正について
地域部長から、新潟県警察の交番及び駐在所の名称等に関する規則の一部改
正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。
 - (2) 交通規制の実施について
交通規制課長から、信号機の委任設置1件について説明があり、審議の結果、
原案どおり決定した。
 - (3) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案24件について、事案内容及び意見聴
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し24件の行政処分を決定した。
- 4 報告事項
 - (1) 公安委員会宛て苦情申出の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関
する苦情申出について報告があった。
 - (2) 大学生と連携したインターネットバンキング不正送金被害防止ポスターの制
作について
生活安全部長から、大学生と連携したインターネットバンキング不正送金被
害防止ポスターの制作について、資料に基づき報告があった。
 - (3) 令和8年1月末の犯罪情勢について
令和8年1月末の犯罪情勢について、刑事部長から刑法犯の概況について、
組織犯罪対策本部長から特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の概況につい
て、生活安全部長から特殊詐欺等に係る被害防止の取組について、資料に基づ
き報告があった。

委員から、「先日、警察署協議会に出席したところ、クレジットカードの不正

利用について話題になり、クレジットカードの利用明細や決済先を定期的に確認することが不正利用を早期に発見し、被害を最小限にとどめるための有効な防止対策であることから、県民に対して周知広報していただきたい。」旨の発言があった。

委員から、「金融機関の窓口を介さないインターネットバンキングの利用拡大により、利用者自ら特殊詐欺被害に気づかず振込を行った場合、水際での阻止が困難になる懸念がある。こうした実態を踏まえ、金融機関等との情報共有や研修の実施など、連携強化を図る必要があると思う。」旨の発言があった。

(4) 交通事故防止用電柱幕「交差点ポリス」の寄贈及び設置について

交通部長から、交通事故防止用電柱幕「交差点ポリス」の寄贈及び設置について、資料に基づき報告があった。

委員から、「交差点ポリスは、反射材が使用されていることから視認性が高く、車両運転手等への注意喚起ができるため、非常に有効な広報資材だと思う。」旨の発言があった。

5 その他

(1) 江南警察署協議会陪席結果について

委員から、「2月17日、江南警察署協議会に陪席したので報告する。江南警察署管内は、高等学校や駅、大規模な商業施設等があることで、自転車盗、盗撮、万引き等の事案が多発している一方、旧来からの農村地区という一面もあり、無施錠の家が依然として多数あるとの説明があった。会議では特殊詐欺被害への関心が高く、協議会委員から、「特殊詐欺の被害金が戻ることはあるのか。」との質問に対し、警察から、「被害金の回復は、極めて困難な状況である。」旨の回答があった。この現状を踏まえ、私から協議会委員に対し、最近の特殊詐欺手口の大半がニセ警察詐欺であること、投資詐欺は一見儲かりそうな話に見えても非常に危険であるといった情報を持ち帰り、職場や地域で広報していただきたいとお願いした。また、協議会委員の詐欺被害への関心の高さから、詐欺被害防止に関する広報の重要性を再認識した。江南警察署の特殊詐欺被害防止に向けた効果的な活動として、地域の中学生6人を特殊詐欺被害防止推進員に委嘱したほか、少年警察ボランティアと協働した防犯パトロール等の活動について報告があった。中学生に対して若いうちから社会正義の実現のため警察の重要な仕事の一端に触れてもらい、自分が社会の役に立っていること、警察の仕事が社会にとって重要であることを知ってもらうという意味で、非常に良い活動であった。県警察としても人材確保の観点から、将来的に優秀な人材を確保するための取組になると期待される。交通事故防止活動に関しては、協議会委員からレッド警戒に関する質問があり、住民はパトカーの赤色灯がついている姿を見ることで安心感を得ることから、見せる警戒活動を引き続き強化していただきたいとお願いした。江南警察署協議会は、委員から様々な意見や質問が出されており、活発で有意義な意見交換が行われた会議であった。」旨

の発言があった。

(2) 犯罪情勢について

本部長から、「令和 8 年 1 月末の犯罪情勢について報告があったが、犯罪情勢については前年同様の発生傾向が続いており、特に特殊詐欺等は引き続き警戒が必要である。特殊詐欺等の被害防止対策として、金融機関等との連携は極めて重要であることから、引き続き金融機関等と連携した被害の未然防止対策に取り組んでまいりたい。さらに、さまざまな場面を通じて、特殊詐欺等の被害防止に効果的な国際電話の利用休止についての周知や、最新の手口に関する注意喚起を積極的に行うなど、効果的な取組を続けてまいりたい。」旨の発言があった。